

2020年度弘前大学人文社会科学部・教育学部
消費者教育推進事業（文部科学省委託事業）報告書

大学における消費者問題講義の 実践モデル構築



弘前大学人文社会科学部・教育学部

2020 年度弘前大学人文社会科学部・教育学部
消費者教育推進事業（文部科学省委託事業）報告書

大学における消費者問題講義の 実践モデル構築



弘前大学人文社会科学部・教育学部

序

本報告書は、2020年度、弘前大学人文社会科学部と教育学部が協力して取り組んだ消費者教育推進事業の成果をまとめたものである。

弘前大学では、2014年度から人文社会科学部が中心となって消費者教育推進のための事業に取り組んできた。2015年度からは消費者問題をテーマとする講義を開講するとともに、消費者フォーラム in HIROSAKI を開催してきた。2016年度には青森県消費者協会と連携協定を締結し、弘前地域における消費者教育推進の拠点づくりのために協力して取り組むこととした。そして、本年度は教育学部が新たに事業に参画するとともに、令和2年度「若年者の消費者教育の推進に関する集中強化プラン」における若年者の消費者教育推進のための実証的調査研究（文部科学省委託事業）を受託し、体制を強化して事業に取り組んだ。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて計画の変更を余儀なくされたところもあったが、例年以上に充実した成果を残すことができた。

以下では、消費者問題をテーマとする講義と消費者フォーラム in HIROSAKI を中心に、本年度の事業の成果を報告する。消費者教育に携わる教育関係、行政関係、企業関係、市民団体の方々や、消費者教育に関心のある一般市民や大学生の方々に幾ばくかの知見を提供するものと考えている。

目 次

序

I 消費者教育推進事業報告

2020年度消費教育推進事業の概要	1
-------------------	---

II 消費者問題講義の実践モデル

消費者問題講義の目的と構成	5
教養教育の消費者問題講義	9
専門教育の消費者問題講義	35

III 消費者フォーラム in HIROSAKI

[開会の辞]

消費者フォーラム in HIROSAKIの開会にあたって	57
------------------------------	----

[第1部 基調講演]

持続可能な社会に向けた消費者教育	59
------------------	----

[第2部 附属中学校における実践報告]

解題：地域における消費者教育の担い手を育てる	69
------------------------	----

食生活から持続可能な社会へ	71
---------------	----

ファストファッションの大きな代償	73
------------------	----

持続可能な社会の実現に向けた授業実践を通して得た学び	75
----------------------------	----

[第3部 大学生の成果発表]

幼い子どもをもつ保護者の消費生活の実態	77
---------------------	----

オンラインゲームの課金トラブルと詐術について	79
------------------------	----

家庭におけるフードロス削減	81
---------------	----

若者の消費者センターの認知度と活用率向上に向けて	83
--------------------------	----

[講評]

大学生の実践報告・研究発表について	87
-------------------	----

[閉会の辞]

消費者フォーラム in HIROSAKIの閉会にあたって	91
------------------------------	----

弘前大学における消費者教育推進事業の記録（2014～2021年度）	93
-----------------------------------	----

あとがき	95
------	----

あとがき

本年度の消費者教育推進事業を実施するにあたり、多くの団体・個人の方々のご支援とご協力を頂いた。事業全体については、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課、特定非営利活動法人青森県消費者協会、青森県消費者問題研究会の方々のご指導、ご支援、ご協力を頂いた。消費者問題講義の開講と講義録の作成にあたっては、青森県内外の消費者問題・消費者教育の専門家の方々に非常勤講師・ゲストスピーカーとして多大なご協力を頂いた。消費者フォーラム in HIROSAKI の開催にあたっては、ご登壇頂いた松葉口玲子先生、西村隆男先生、人文社会科学部・教育学部・青森中央学院大学の学生たち、ロビー展示にご協力頂いた青森県消費生活センター、消費者教育支援センター、SEEDS NETWORK の方々、準備作業や会場スタッフを務めた人文社会科学部・教育学部の学生たち、後援して頂いた青森県教育委員会、中南地区各市町村の教育委員会を始め、多くの方々のご支援とご協力を頂いた。その他にも、すべては書き切れないが、多くの方々のご支援とご協力を頂いた。これらの方々のお蔭で、新型コロナウイルス感染拡大の状況の中でも、本年度の事業の所期の目的を達成することができたと考えている。

なお、本報告書は、令和2年度「若年者の消費者教育の推進に関する集中強化プラン」における若年者の消費者教育推進のための実証的調査研究（文部科学省委託事業）の成果として公表するものである。

本年度の消費者フォーラム in HIROSAKI については、アーカイブ動画を視聴することができます。視聴を希望される方は、弘前大学の保田宗良
〈yasuda@hirosaki-u.ac.jp〉までメールでご連絡下さい。

報告書編集委員

(代表) 保 田 宗 良
福 田 進 治
金 目 哲 郎
吉 村 顕 真
花 田 真 一
加 賀 恵 子

2020年度弘前大学人文社会科学部・教育学部
消費者教育推進事業（文部科学省委託事業）報告書
大学における消費者問題講義の実践モデル構築

2021年2月5日発行

編集・発行者 同上編集委員会
代表 保田宗良
〒036-8560 青森県弘前市文京町1
弘前大学人文社会科学部内
Tel/Fax 0172-39-3293
E-mail : yasuda@hirosaki-u.ac.jp

発行所 小野印刷
弘前市富田町52

